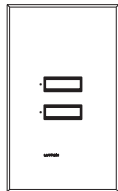
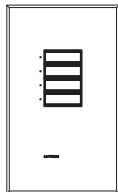
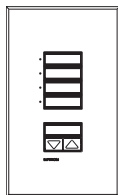


seeTouch™

SO 補助コントロール 取付・取扱説明書



お読みください
低電圧配線

24 V  30 mA

- SO-1B
- SO-2B
- SO-3B
- SO-4B
- SO-4S
- SO-4SIR
- SO-4NRL
- SO-5B
- SO-6B
- SO-7B
- SO-2W
- SO-3W
- SO-3WRL
- SO-3WD
- SO-5WRL

グラフィック 5000/6000/7000 専用

このたびは、ルートロン製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。

この機器の取り付けには、電気工事士の資格が必要です。

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みください。またお読みいただきました後も大切に保管してください。

ご質問・テクニカルサポートについては下記までお問い合わせください。

ホームページ <http://www.lutron.com/japan>

E-mail asuka@lutron.com

Tel: 03-5575-8411

フリーダイヤル 0120-08-3417



警告！

- 本器はグラフィック 5000/6000/7000 専用です。AC 電源等、強電線を接続しないでください。
故障・異常発熱・火災などの原因となります。
- 本器は一般屋内取り付け専用です。浴室や屋外など湿度の高い場所には設置しないでください。
故障・火災・感電などの原因となります。
- 本説明書に記載された電線を使用し、確実に結線してください。
指定外の電線の使用や不十分な結線は、異常発熱・火災の原因となります。
- 改造をしないでください。
故障・異常発熱・火災などの原因となります。

配線上の注意

- コントロールリンク配線
 - ルートロン GRX-CBL-46L (5 芯)、または GRX-CBL-346S (4 芯) を使用してください。各線は、下記の通り接続してください。

端子番号	1	—	黒 (コモン)
	2	—	赤 (DC12 ~ 35 V)
	3	—	紫 (MUX / データ線 +)
	4	—	白 (MUX / データ線 -)
- センサー / 接点入力端子の配線 (必要に応じて)
 - CPEV 0.9 mm-2P (3 本使用) を推奨。
- コントロールリンクから分岐させて結線する場合は、分岐線の長さを 2.4 m 以下としてください。
- コントロールリンクは AC 電源線と束ねたり、同一配管内に配線しないでください。誤動作の原因になる場合があります。
- コントロールリンク 1 つあたりの最大延長は 600 m です。リンクプースター (MX-RPTR) を使用した場合、さらに延長が可能です。
- GRX-CBL-46L/346S のドレイン線 (裸線) は、コントロールリンクに沿って渡すよう配線してください。また、ドレイン線をアースに接続しないでください。
- コントロールリンクは、リンクの両端に LT-1 (終端抵抗) が必要です。LT-1 を接続しないと、誤動作の原因となります。

注意！

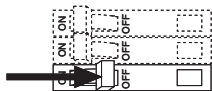
- 設置・配線を始める前に、この取扱説明書をよくお読みください。
- 補助コントロールの取付、配線にあたっては、国や地域の関連法規に従ってください。
- AC100 ~ 200 V 電源を低電圧端子に接続しないでください。誤配線は、人身事故を招いたり、コントロールリンクや他の装置の故障の原因になる場合があります。
- フェースプレートのお手入れには、中性洗剤を使用し、その後水拭きしてください (化学クリーナーは使用しないでください)。

設置

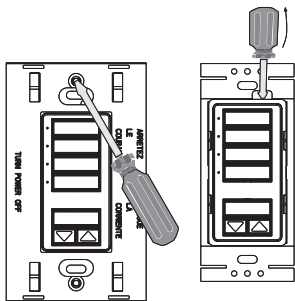


警告！ すべての作業を行う前に、必ずブレーカーの電源がオフになっていることを確認してください。重大な人身事故を招く原因になります。

1. 電源をオフにします。ブレーカーの電源をオフにします。



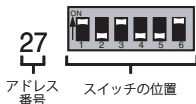
2. スイッチボックスを取り付けます。標準的な1口用深型スイッチボックス（奥行き45 mm程度を推奨）を取り付けます。
3. 補助コントロールを用意します。フェースプレート、取付板、およびボタン部分を補助コントロールから取り外し、アドレススイッチを設定できるようにします。



4. 補助コントロールをアドレス指定します。コントロールリンク上のすべての補助コントロールをアドレス指定します。システムが適切に動作するために、リンク上の各補助コントロールには、それぞれ異なったアドレスを割り当てる**必要があります**。コントロールリンクごとに割り当てることができる補助コントロールの最大数については、システム取扱説明書を参照してください。

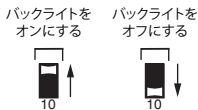
各システムアドレスのスイッチの正しい位置については、この取扱説明書の7ページを参照してください。コントロールリンク上に最大32台の補助コントロールが搭載されたシステムの場合、スイッチ1～5は図に示すように位置（1～32）のいずれかに設定してください。

たとえば、補助コントロールにアドレス27を割り当てるには、スイッチを次のように設定します。



注：スイッチ7、8、9は、制御タイプを規定します（工場出荷時に設定済み）。

5. バックライトオプションを設定します。補助コントロールは、バックライトがオンになっています（工場出荷時の設定）。バックライトの設定を切り替えるには、スイッチ10を使用します。

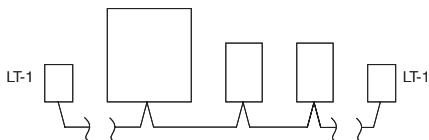


6. 電線を準備します。電線の絶縁被覆を約 10 mm 剥きます。



補助コントロールの各端子には、1.25 mm² 以下の電線を 2 本まで取り付けることができます。

注：配線は下記のように、一筆書き配線にしてください。

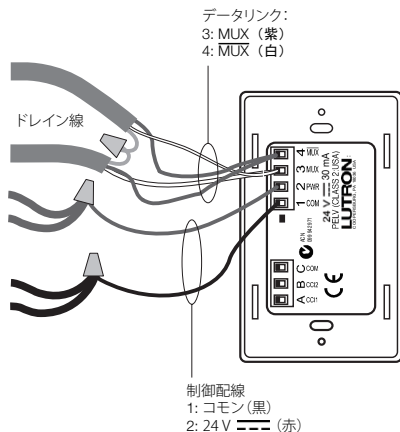


コントロールリンクの両端には、LT-1（終端抵抗）が必要です。

7. 補助コントロールをコントロールリンクに接続します。ルートロン GRX-CBL-46L（5 芯）または GRX-CBL-346S（4 芯）を使用してください。各線は下記の通り接続してください。

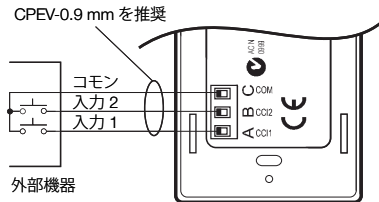
端子番号	色	用途
1	黒	（コモン）
2	赤	（DC12 ~ 35 V）
3	紫	（MUX / データ線 +）
4	白	（MUX / データ線 -）

なお、GRX-CBL-46L の黒・赤線はそれぞれ 3.5 mm² のため、そのままでは接続できません。その場合、右図のようにバックボックス内にて 1.25 mm² 以下の電線と圧着のうえ分岐してください。



コントロールリンク配線

8. 無電圧 a 接点出力端子を備える外部機器を補助コントロールに接続します（必要な場合のみ）。接点入力端子を 1 個使用する場合、補助コントロールの接点入力端子 A に外部機器を接続します。接点入力端子を 2 個使用する場合、補助コントロールの端子 A と B に外部機器を接続します。接点入力のコモン側を端子 C に接続します。



接点入力端子の配線

接点入力端子使用時の注意事項

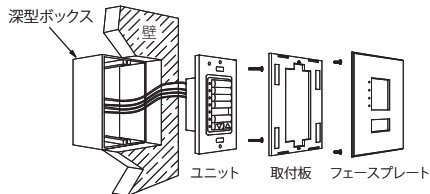
外部接点入力端子の互換性を確認してください。接点入力端子は、無電圧 a 接点出力または半導体出力のいずれかを接続できます。

- 無電圧接点
オープン時の電圧が 10 V 以下、クローズ時の電流が 0.5 mA 以下。
- 半導体入力
オープン時の電圧が 2 V 以下、クローズ時の電流が 50 μ A 以下（5 V 時）
- 入力時間
40 ms 以上。

外部機器の出力がこれらの仕様に準拠しているか等は、その機器の製造元にお問い合わせください。

9. 補助コントロールを取り付けます。図に示すように補助コントロールを取り付け、位置を調整します。上下のネジを使用して、コントロールリンクとスイッチボックスに取り付けます。取り外していたフェースプレート、取付板、ボタン部分を元に戻します。

※SO-4SN を例とする



一般的な取り付け図

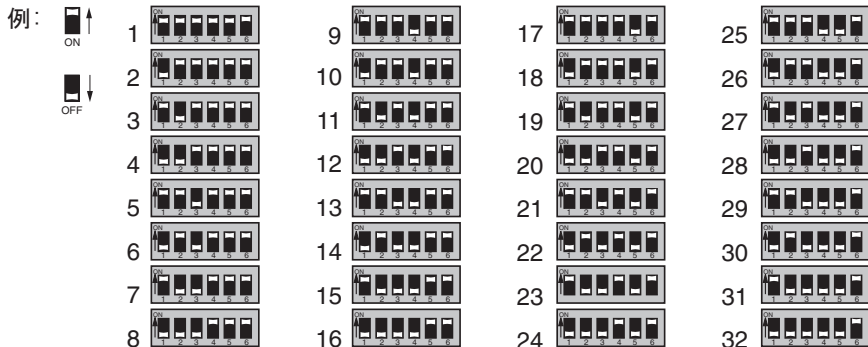
10. 補助コントロールリンクをプロセッサに接続します。
11. 電源をオンにします。

トラブルシューティング

症状	原因
LED が 2、3 秒おきに一齐に点滅している。	<ul style="list-style-type: none">誤配線、またはコントロールリンクのデータライン 3 と 4 の接触不良。終端抵抗 (LT-1) が、コントロールリンクの両端に取り付けられていない。
補助コントロールボタンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none">補助コントロールが正しくアドレス指定されていない。補助コントロールがプログラムされていないか、プロセッサまたはコントローラで正しくプログラムされていない。
LED が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">誤配線、またはコントロールリンクの端子 1 と 2 の接触不良。
接点入力が正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none">誤配線、または補助コントロールセンサー / CGI コネクタの接触不良。補助コントロールが正しくアドレス指定されていない。補助コントロールがプログラムされていないか、プロセッサまたはコントローラで正しくプログラムされていない。

システムアドレス指定用補助コントロールのスイッチ設定

詳細については、設置手順のステップ 4 (4 ページ) をご覧ください。



限定保証

ルートロン アスカ株式会社は、その裁量により、ご購入より1年間を限度として、部品や製造上欠陥のあるユニットを修理または交換いたします。保証サービスの適用にあたっては、不具合のあるユニットをルートロン アスカ株式会社に返送していただく必要があります。詳細はルートロン アスカ株式会社までご連絡ください。

本保証書は単一の明文規定とし、商品化の黙示保証および日本の民法（瑕疵担保）のもとでの黙示保証の適用は購入から1年に限定されます。本保証には、取り付け、取り外し、再取り付け、および誤用や乱用、不十分・不適切は修理に直接起因する損傷、あるいは配線ミス、取り付けミスに関する費用は含まれません。また、本保証は、付随的、間接的に発生する損傷や特殊な 損傷をカバーするものではありません。なお、ルートロン アスカ株式会社が、ユニットの製造、販売、取り付け、配送、使用に直接または間接的に起因する損傷に対して請け負う責任は、ユニット本体の購入価格を超えないものとします。

本製品は、以下に示すひとつまたは複数の特許により保護されています。

4,835,343; D436,930; D453,742; D456,783; D461,782; D465,460; D465,770; D466,090; D466,091; D466,484; D475,024; D475,025; D490,061;

Lutron, sunburst ロゴは、登録商標です。また、seeTouch は Lutron Electronics Co., Inc の商標です。米国電気工事規定、NEC および NFPA は、米国防火協会（マサチューセッツ州クインシー）の登録商標です。

© 2006 Lutron Electronics Co., Inc.

 **LUTRON**®

ルートロン アスカ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-20

第16興和ビル南館4階

Tel: 03-5575-8411 (代表)

Fax: 03-5575-8420

☎ 0120-08-3417

E-mail: asuka@lutron.com

<http://www.lutron.com/japan>

販売店印